

令和7年7月1日

各関係機関の長 殿

国立大学法人東北大学  
大学院国際文化研究科長 劉庭秀  
(公印省略)

### 教員の公募について (依頼)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

さて、このたび本研究科では、国際文化研究専攻応用言語研究講座の教員を下記により公募することになりました。

つきましては、ご多用中のところ誠に恐縮ですが、貴職関係方面へ周知方よろしくお取り計らい下さいますようお願い申し上げます。

敬具

### 記

1. 職名・人員 助教 1名

2. 専門分野 認知的アプローチによる実験言語研究

3. 応募資格

- (1) 本研究科において教育および研究に従事する資格を有すると認められる者であり、博士の学位を取得していること。また、大学において助教、助手、あるいは研究員として1年以上の研究経験を有すること。ただし、他の条件において特に優れていると認められる場合には、この年数要件を緩和することができる。
- (2) 心理学や脳科学等の分野との学際的・融合的な研究（心理・脳科学的データの収集や分析を含む）および国際共同研究において十分な実績を有し、独立した研究者として主体的に研究を推進する意欲のある者であること。なお、本研究科における認知的アプローチによる言語研究の展開および、関連する共同・連携活動への積極的な参画が求められる。
- (3) 本研究科国際文化研究専攻応用言語研究講座の助教として、応用言語研究講座および国際卓越研究プロジェクト等に関わる関連業務を担当できる者であること。
- (4) 国籍は問わないが、日本語および英語において、上記の業務を遂行できる能力を有すること。

4. 雇用形態

- (1) 本人事によって採用された者には裁量労働制を適用する。
- (2) 任期は3年とし、着任後の研究業績が優れていると認められた場合には、1年ごとの再任を最長2回まで認めることがある。通算在職期間は最長5年を超えないものとする。

5. 採用予定日 2025年10月1日を予定（応相談）

6. 提出書類

- (1) 履歴書1部（本学所定の様式、写真添付）  
様式は研究科HPの「教員募集」ページからダウンロードしてください。

<https://www.intcul.tohoku.ac.jp/faculty-recruitment/>

(2) 研究業績一覧表 (様式自由)

研究業績には、以下の項目を含めることが望ましい：論文、書籍、国際会議プロシーディングス、会議発表 (国内・国際、一般発表・招待講演を区別)、受賞、産業財産権、社会貢献活動、競争的研究資金、共同研究の実績、その他特筆すべき事項。論文については、査読の有無を明記すること。また、当該論文または業績が優れたものであることを示す数値指標 (被引用数、ジャーナルのインパクトファクター、FWCI [Field-Weighted Citation Impact] など) があれば、適宜明記すること。

(3) 研究業績のうち、著書、論文、研究ノート全点 (PDF、抜刷り、コピーでも可)。

(4) 研究に関する抱負

A4判 1~2枚程度にまとめること。

(5) 必要に応じて、ほかに資料の提出を求めることがある。

7. 応募締切 2025年 7月 30日 (水) (必着)

8. 選考方法 書類選考後、面接を実施する予定である。

\*面接に要する交通費は、支給しない。

\*面接は対面を原則とするが、海外居住者についてはオンライン形式で行うことがある。

9. 書類提出先 【電子メール】

[int-som\\*grp.tohoku.ac.jp](mailto:int-som*grp.tohoku.ac.jp) (送信時には「\*」を「@」に置き換えること)

\*提出書類一式をパスワードを設定した PDF ファイルにして (個別でもまとめてもどちらでもよい)、上記のメールアドレス宛てに送付すること。パスワードは、別途電子メールで知らせること。

\*メールの件名は「応募書類 (応用言語研究講座)」とすること。

\*受理通知を必ず確認のこと。なお、送信日から 2 日後 (土日祝日、その他休業日を除く) までに受理通知が届かない場合には、必ず電話で問い合わせをして、応募書類の着信の有無を確認すること。

\*応募書類は原則として返却しない。

10. 問合せ先 東北大学大学院国際文化研究科総務企画係

電話 022 (795) 7541

F A X 022 (795) 7583

電子メール [int-som@grp.tohoku.ac.jp](mailto:int-som@grp.tohoku.ac.jp)

東北大学大学院国際文化研究科については、下記のウェブページをご参照ください。

<http://www.intcul.tohoku.ac.jp/>

11. その他

- ・ 東北大学は多様性、公正性、包摂性 (Diversity, Equity & Inclusion : DEI) を向上させる活動を推進しており、多様な人材の積極的な応募を歓迎します。

東北大学 DEI 推進宣言 WEB ページ <https://dei.tohoku.ac.jp/vision/about/>

- ・ 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律第 8 条に基づき女性教員の在籍率を改善するための措置として、公正な評価に基づき職務に必要なとされている能力が同等と認められる場合は、女性を優先的に採用します。
- ・ 学生および教職員が学業・研究・職務の遂行において、多様な性を尊重する環境を実現することを目的として、その方針と具体的な対応の内容を示した「東北大学ーみんなが主役ー多様な性に関するガイドライン」を制定しています。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

[https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for\\_minority/](https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_minority/)

- 東北大学には全学教職員が利用できる川内けやき保育園（定員 22 名）及び青葉山みどり保育園（定員 116 名）の他、大学病院所属の職員等が利用できる星の子保育園（定員 120 名）があり、全国の国立大学の事業所内保育施設として最大規模の保育環境が整っています。

また、大学病院内に軽症病児・病後児保育室もあり、全学教職員が利用できます。

- その他、男性教職員の育児休業等促進策も含めた本学の両立支援、研究支援等の詳細及び共同参画の取組については、下記 URL をご覧ください。

ダイバーシティ・エクイティ・インクルージョン推進センターWEB ページ

[https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for\\_family/](https://dei.tohoku.ac.jp/vision/consulting/for_family/)

人事企画部 WEB ページ

<https://c.bureau.tohoku.ac.jp/jinji-top/external/a-4-kosodate/>